

## オレゴン市派遣事業を終えて

小林 奏太

アメリカ、オレゴン州は、西海岸の北に位置します。山に囲まれ、西に進めば海もある。自然豊かなオレゴン市に僕たちは行ってきました。

一番困ったのは、ホストファミリーの方々との初めての挨拶です。どんな英語を使ってコミュニケーションをとればいいのかわかりませんでした。しかし、ホストファミリーの方々がわかりやすく、ゆっくりと話してくれたので良かったです。

ホストファミリーのジョイさんとブライアンさんとともにたくさんの場所に行きました。オレゴン州の中心部、ポートランドに行ったときは、ちょうど、ポートランドではお祭りが開かれ、屋台が並んでいました。日本の屋台と違って「遊ぶ、食べる」というよりは「日用品が買える」という感じでした。海にも出かけました。裸足でビーチを歩きました。すぐ近くにあった洋服店やゲームセンターにも連れてってもらいました。また、野球のバット工場にも行き、バットが作られる工程など貴重な体験をさせてもらいました。

オレゴン市の市役所や図書館、消防署などもまわりました。消防署では、消防車の中まで見せてくれました。その日の夜はバーベキューポットラックパーティーを全員で行いました。たくさんの人と英語で話せたのでとてもよかったです。また、パーティーの途中で書道についてのプレゼンテーションをやりました。あまり、受けはよくありませんでしたが、白地のうちわに「夏」と書いてもらい各家庭に持ち帰ってもらいました。

夜、就寝時間になると「明日は何があるのだろう」と考えながら眠りました。日本との違いや新しい発見がたくさんあった日々になりました。また、ネイティブの英語を聞いて聞き取れない自分の英語能力はまだまだであることがわかりました。もう一度、アメリカにいけるようにこれから頑張りたいです。

## オレゴン市訪問で感じたこと

六川 響紀

私は、8月11日から8月18日までの8日間、アメリカのオレゴン市へ行きました。

アメリカはとても素晴らしい所でした。具体的にどのようなことかと言うと、まず1番目に全ての物が日本と比べて大き

いということでした。

例えば、自動車は日本の1・5倍から大きいもので2倍程ありました。他にも家や、川幅なども日本とは桁違いに大きかったです。自分は何故ここまで大きく作ったのだろうと考えました。おそらくですが、元々アメリカ人は身長や、体の作りが日本人と比べて大きく、それに国土が大きいという理由が挙げられると、行ってみて思いました。

2つ目は、言葉についてです。今回アメリカへ行った時にまず思ったこととして、話し方が日本に比べてとてもわかりやすい、ということでした。使う英語は難しいものではありませんでした。Yes やNO、OKなどがとても多かったのです。次に英語というのは、言葉ではあるのですがとても感性豊かな言語だと思いました。例えば、晴れている時So beautiful day.と書いていました。直訳では、とても美しい日という風になりますが、確かに晴れている日は美しいです。なのでその言葉を聞いて、とても感動しました。アメリカ人は感性が素晴らしいなと思いました。

そして3つ目、これは自分がびっくりしたことですが、アメリカ人の感覚です。ちょっと出掛けよう、という時、日本人は距離にして5kmから20kmなど個人差はありますが、だいたいそのぐらいだと思

います。しかしアメリカ人はそのちょっと出掛けようが、距離にして100kmから150kmくらいが普通らしいのです。150kmといえば、新潟から山梨位の距離です。なので聞いた時自分はとてもびっくりしました。人の感覚というもの、環境によってこれほど違うのだなと思いました。

今回の派遣事業を通して、様々な文化に触れることができ、とても良かったと思っています。ありがとうございました。

